

中学授業も週1コマ増

指導要領案 総合学習は減

文部科学省は31日、学習指導要領改訂に向けて中学校の教育課程の枠組み案を中央教育審議会(文科相の諮問機関)の中学校部会に提示した。国語、社会、数学、理科、外国語、保健体育について授業時間の増加を求める一方、「総合的な学習の時間」(総合学習)は減らす内容。この結果、各学年とも週1コマ(50分)程度増える。また、選択教科を減らし、カリキュラムの共通性を高める。

(中井大助)

中教審の小学校部会は30日、主要教科の授業を増やす一方、総合学習を減らし、低学年で週2コマ、中高学年で週1コマ程度増える案を大筋で了承している。

増やす②社会科は近現代を中心とした歴史や法に関する学習や宗教指導の充実のため、3年を中心に増やす③数学はつまづき、嫌になる生徒を出さないよう丁寧に指導するため1、2年を中心に増やす④理科は学年が進むにつれて学習が深化す

るため2、3年を中心に針だ。

増やす⑤外国語は文法指導や習得すべき語彙数を充実するため、全学年で増やす⑥保健体育は3学年を通じて増やす——として、各学年で週1コマで週2コマ程度増やす方針

一方、各学年で必修となっている総合学習は、「考える力」の育成が他の教科でも充実できるとして、各学年で週1コマ相当減らす。選択教科も減らし、必修を充実させる。

この増減の結果、合計で週1コマ程度増える計算になる。週5日制を变えずに、これを達成するために小学校と同様、週の授業時間の純粋増に加え、早朝や放課後に

中学の選択教科 学習指導要領では生徒の選択能力の育成や個性の伸長を目指し、選択教科が増え、3学年合計で平均225コマ実施されている。しかし、64%に相当する144コマは国語、社会、数学、理科、外国語の発展的な学習や補習などに使われている(文部科学省調べ)。また、選択を増やした結果、教育課程が必要以上に複雑になっているという指摘がある。

読書活動やドリル学習をして授業時間に算入することや、長期休業の短縮

小中高生向け「科学者養成所」

大学など5校、指導の場

水泳の一流選手の多くが幼いうちからスイミングスクールに通い才能を伸ばすように、理数系に卓越した意欲や能力を持つ小・中・高校生に向けた「未来の科学者養成講座」を文部科学省が来年度から始める。大学などに指導の場を設ける。概算要求に2億円を盛り込んだ。

講座は、高度な数学を理解できるような児童や生徒が対象。学校の通常の課程とは独立した取り組みとして、高度で発展的な学習環境を提供できる大学や高等専門学校を公募し5校を選ぶ。対象者の選抜方法などは、各校に任せる方針だ。内容としては、大学レベルも視野に入れた数学の講義、観察や実験を通じた科

学の学習、科学の魅力を児童生徒や進路指導担当の教員に伝えることなどを想定している。期間限定ではなく、毎週土曜日など年間を通じ継続的に開く。同省は「科学オリンピック」に出場するような生徒の才能を小さいうちから伸ばす仕組みがなかった」と期待している。

母と一緒に温泉

芦野温泉

泉質調査 学会発表 ホームページ参照

②強いアルカリ特性と低い酸化還元電位

今すぐクリックを! 芦野温泉 検索

0287(74) 0211 栃木県那須町芦野1461